

12月18日(火)

喜びをつくるレシピ

聖書朗読 詩篇 66:1～7

しかし、わたしは主を仰ぎ見、私の救いの神を待ち望む。私の神は私の願いを聞いてくださる。
ミカ 7:7

今回の詩篇作者は、神様は称えられる対象である信じ、私たちが賛美と愛を作り出すことのできるレシピを見せてくれます。材料は神様への叫びや歌や、話しかけることなどです。

叫ぶことは溢れ出る感情の表現方法です。私たちは好きなスポーツのチームを応援するときに声をあげます。今日の箇所でも神様の大きな力、働きに喜びの叫びをあげる薦めをします。私たちの孫たちは誰かをお迎えするときに叫びをあげて喜びを表現します。私たちも神様に喜びの叫び声をあげましょう！

2番目の材料は歌うことです。ダビデは音楽でサウル王の不安定な気持ちを安らかなものにしました。あなたの祈りを歌にして神様に歌いましょう。あなたの心から旋律を呼び出し、唇にそれをのせましょう。神様のラジオは私たちの賛美ステーションをいつも選局しています。

霊に満たされた人生に必要な、一番鮮度を問われる材料は神様の言葉を絶えず自分に取り込んでいるかどうかです。レシピがだんだん上級者レベルに近づくすべての材料——叫び、歌、そして日々蓄えた聖句をうまく混ぜ合わせ、「あなたの業はなんとすばらしいのでしょう！」と心をこめて言うことができるのです

眠れない夜があったなら、温かいミルクを飲むことや羊を数えることをやめて、神様の輝かしいエピソード——御力、救い、愛、そして御守りを覚え、数えなおしましょう。

聖歌 481

祈り 親愛なる主よ。詩篇の作者のように喜びの声を上げることが私たちが忘れないようにしてください。私たちを日々守ってくださり、ありがとうございます。あなたを愛しています。

イエスさまのお名前によって祈ります。アーメン。

ビル・ティーン夫人
テキサス州 アベリン

12月19日(水)

知っていますか？

聖書朗読 詩篇 119:41～50

そこで子どもたちよ。キリストのうちにとどまっていなさい。それは、キリストが現れるとき、私たちが信頼を持ち、その来臨のときに、御前で恥じ入ることのないためです。
I ヨハネ 2:28

あなたは天国にいける確信がありますか？ この質問は私がクリスチャンになりたてのころ参加していた聖書クラスで投げかけられた質問です。はい、と手をあげる人がいなかったの私は驚きました。そこにいた人は私よりも長いクリスチャン生活をしているのに、自身の救いについて確信がないなんて、聖書のみことばのもつ力を理解していないのではないか、と思いました。もちろん、当時の私も神様の力を理解していたわけではありませんでした。

パウロはローマ8章1節で、『キリスト・イエスにある者が罪に定められることは決してありません。』と書きました。今日の聖書の引用から書いたヨハネもこの手紙の中(3:19～20)で『それによって、私たちは、自分が真理に属するものであることを知り、そして、神の御前に心を安らかにされるのです。たとい自分の心が責められてもです。なぜなら、神は私たちの心よりも大きく、そして何もかもご存じだからです。』と、パウロが書いたことを肯定しています。

ペテロは『主イエスの、神としての御力は、いのちと敬虔に関するすべてのことを私たちに与えるからです。』(IIペテロ 1:3)と教えます。

疑う余地はありません。怖がる必要ありません。神様の愛と救いの計画が私たちをしっかりと支えてくださるので私たちは喜んで人生を生きることができます。すばらしい恵みです。神様の言葉は命です。みことばを勉強し、みことばに生きましょう。

聖歌 496

祈り 御在天の父よ。あなたの私たちへの愛は計り知れず、大きいものです。どうかそのすばらしいみことばの恵みを理解できますようにお助けください。

イエス様のお名前によって祈ります。アーメン。

キャロライン・イエーツ
ノースカロライナ州 レライ

12月20日(木)

子　ど　も　の　心

聖書朗読　詩篇　127:18～35

まことに、あなたがたに告げます。あなたがたも悔い改めて子どもたちのようにならない限り、決して天の御国には、入れません。　　　　　　　　　　マタイ　18:3

ある教会員が施設を訪問し、主の食卓の奉仕をしたときの話です。彼は自分の娘とその子のお人形と一緒に施設に行きました。娘さんはそのお人形が大好きだったので肌身離さず持ち歩いていたのでした。

訪問リストの一番最初にあったのはジョージという、とてもやさしい紳士でした。ジョージは訪問者が来たことをとても喜びました。「どなたか家族がいるのですか？」という質問に、ジョージは「私には家族がもう誰もいない」と答えました。その答えに女の子は驚いた様子でジョージをじっと見つめ、涙を浮かべました。

主の食卓を終え、いとまを告げ、そこを去ろうとしたとき、女の子はジョージのところに駆けもどり、ぎゅっと抱きついてから大切にしていた彼女のお人形を渡しました。お父さんは間に入って「おまえはそこまでしなくたっていいんだよ」と引きとめようとしてましたが、足が固まってしまい、その場を見守るだけでした。ジョージはひざをついてその子を迎え、お人形を受け取りました。そして微笑み、女の子を抱きしめたのでした。

大切なことがこの出来事から学べると思います。帰りの車から、お父さんは涙のまだ乾かぬ目でバックミラーを見ました。ジョージはお人形を持って手を振っていました。お父さんはどんなに自分が娘を愛して誇りに思っているか、今とった行動が神様をどれだけ喜ばせるものだったかを娘に言わずにはいられませんでした。

聖　歌　　686

祈　り　　親愛なる主よ。子どもたちとその美しい心に感謝いたします。子どものような素直な信仰を私たちの心に与えてください。

すべての名前にまさって美しいキリストのお名前によって祈ります。
アーメン

ジョアン・クレイトン
ニューメキシコ州　ポータレス

12月21日(金)

ただ存在することの大切さ

聖書朗読　詩篇　139:13～16

御霊も同じようにして、弱い私たちを助けてくださいます。私たちは、どのように祈ったらよいかわからないのですが、御霊ご自身が、言いようもない深いうめきによって、私たちのためにとりなしてくださいませ。　　　　　　　　　ローマ　8:26

私の四人の娘たちがほかの何よりも私にしてほしいと願うことはそこに「存在してほしい」ことのようにです。

「ねえお母さん、ブランコ押して～、背中さすって～、絵本を読んで～、私を見て～!」。時に私は忙しくて、呼びかけにこたえることが一番大切なのに目先のことを一番にして彼女たちに向き合うのを二の次にしてしまうときがあります。もう一回まわさなければならぬ洗濯機、しなければならぬ電話などなど。これらのことが終わらなきゃいけないのに、といらいらしたとき、御霊に小突かれてはっとすることがあります。

優先順位をきちんとしよう、と考えることは十分ではありません。私たちは聖霊様の導きを聞かなければいけません。聖霊様は私たちが注意をして耳をそばだてていると、ささやきかけ、導く力としてそこに存在してくださいませ。そしてそれだけでなく、私たちがなんと祈っていいかわからない困難な状況にいるときに私たちの代わりに祈ってくださるのです。

ですから、私は私の子どもたちがまだ小さなうちに、どんな時でも今やっていることを喜んで横において、私の存在を子どもたちに十分に与える選択を日々したいと思います。そうすることによって子どもたちが賢く成長し、聖霊様の存在を自分の生活の中に受け入れ、さらに成熟し、福音を大胆に語るために十分に備えられたものに育てる手伝いができるのです。

聖　歌　　715

祈　り　　お父様。あなたの御霊という賜物、そして御霊様が今もなお働いてくださることに感謝いたします。あなたの導きに従うよう、私たちの心をどうぞ変えてください。

イエス様のお名前によって祈ります。アーメン。

マン・キャンブ
テキサス州　ラボック

12月22日(土)

値段がつけられないもの

聖書朗読 箴言 1:8~9

わが子よ、あなたの父の訓戒に聞き従え。あなたの母の教を捨ててはならない。
それらは、あなたの頭の麗しい花輪、あなたの首飾りである。 箴言 1:8~9

毎年、クリスマス時期が近づくと世界中の家族がツリーの飾りつけをします。先祖代々大切にされてきた飾りを包み紙からそっと大事に取り出します。手作りの飾りはそれにまつわる思い出も一緒にとりだして木にかけます。長いビーズ飾りはツリーの上から下に向かって枝に添って優雅に巻かれます。一番尊敬されている飾りが木の上のほうにつけられたりして、どの木もそれぞれの家族だけが作る、想い出とともに輝くすばらしいツリーになります。それこそ、プライスレス、値段がつけられないものです。

ソロモン王は知恵にあふれた言葉を残しています。王は子どもたちに父の訓戒を覚え、母の教を忘れてはならない、と言いました。子どもたちがその言葉を守るとは、知恵の宝を携え人生を歩むことです。

もし今の若い世代の者たちが父母の言葉を心に留めてその助言を生活に生かすなら、その若者はツリーを輝かせる飾りのように人生の知恵の宝を身につけて輝くことでしょう。

人生経験の中から生まれた知恵にあふれた言葉は美しく、ずっと心に残るものです。父母の、指導者たちの知恵は尊敬され賞賛され、後に続くべきもののなです。

その知恵を大切なものとしてきちんと覚えるときに、それは値段がつけられないほどの貴重なものになるのです。

讃美歌 284

祈り 愛する父よ。私たちの周りにいる若者たちは毎日誘惑に会い、毎日導きを必要としています。どうかそばにいてくださることにより、彼らがあなたのみことばに堅く立ち、上を向いて歩めますように。家族の霊性を保ち、成長させ、若者たちをあなたを尊敬し続ける者として育てることが出来ます様に。

イエス様の名前によって祈ります。アーメン。

コニー・シンプキンス・トーマス

ケンタッキー州 マウントワシントン市

12月23日(日)

すべてか、ゼロか

聖書朗読 箴言 3:5~6

心を尽くして主に抛り頼め。自分の悟りにたよるな。 箴言 3:5

全部捧げるか、まったく捧げないか、2つに1つしか選択肢はありません。中間はないのです。神様は私たちに100%を求めておられ、そして100%の献身には報いてくださると約束しています。神様はそれ以外のものを受け入れる余地をくださる振りもなさいません

神様の要求は以下のように生半可なものではありません。

私の味方でない者は私に逆らう者であり、私とともに集めない者は散らす者です。(マタイ 12:30)

ほかの神々に仕えてはならない。(ヨシュア 24:15)

そういうわけで、あなたがたはだれでも自分の財産全部を捨てないでは、私の弟子になることはできません。(ルカ 14:33)

あなたがたはこのことを知らないのですか。あなたがたが自分の身をささげて奴隷として服従すれば、その服従する相手の奴隷であって、あるいは罪の奴隷となって死に至り、あるいは従順の奴隷となって義に至るのです。神に感謝すべきことには、あなたがたは、もとは罪の奴隷でしたが、伝えられた教えの基準に心から服従し、罪から解放されて、義の奴隷となったのです。(ローマ 6:16~18)

いったいどこの誰にこんな完全で従順な生活ができるのでしょうか？ 不可能？ いいえ。人生を神様に任せ、欠けているものを神様に補っていただく姿勢があれば完全な生活をするのが可能になります。神様が補ってくださるので信仰と恵みが一緒に働くのです。あなたの信仰が神様の恵みと力を引き出すのです(Ⅱコリント 5:7)。それがどこに進む道であろうと神様を信じ、あなたの踏み出す一歩を導いてもらいましょう。エレミヤ 17:16 で預言者が言っています。『あなたに従う牧者になることを、避けたことはありません。』

御力に近づけば近づくほど、あなたに力がみなぎります。

—————作者不明

讃美歌 291

祈り すべてのものの父である主よ。あなたに「導いてください」と言えるように助けてください。その導きに従う勇気をお与えください。

イエス様のお名前によってお願いいたします。アーメン

ウィリアム・E・マクドノフ

ビルマ ヤンゴン州